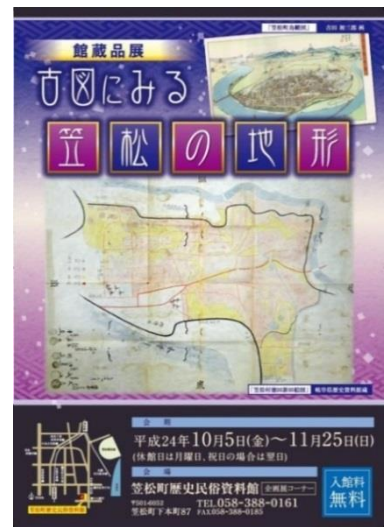


ポスターに見る企画展のあゆみ

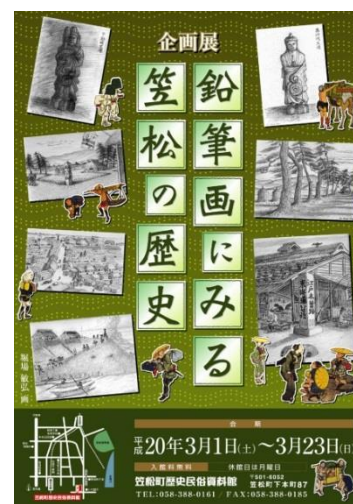
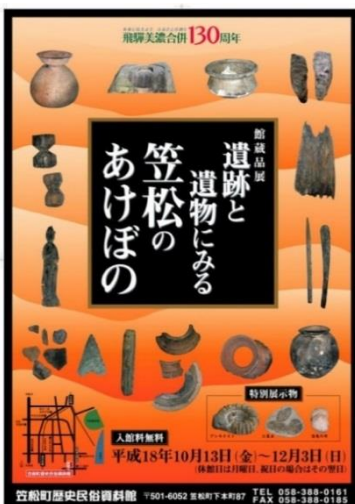
歴史民俗資料館 20 年のあゆみは、企画展 67、干支展 17、私のコレクション 21、講演会 12、歴史探訪 5 と、多彩な展示と企画の積み重ねでした。企画展ポスターからテーマ別に振り返ります。

【笠松の地形・自然・歴史を紹介】



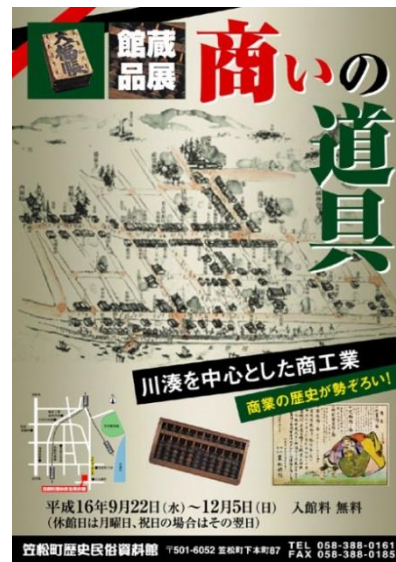
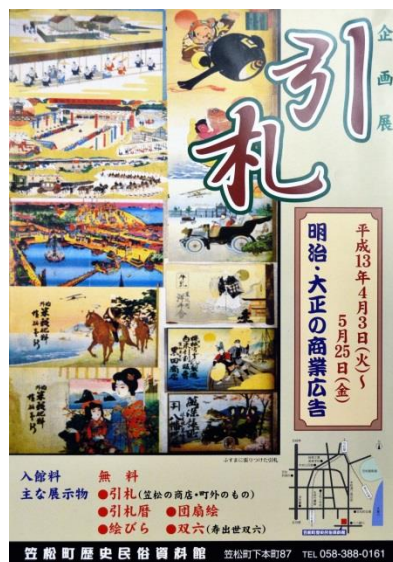
木曽川の流れが作りだした笠松。木曽川を中心に地形・自然・歴史をテーマにした企画。

【笠松の歴史を紹介】



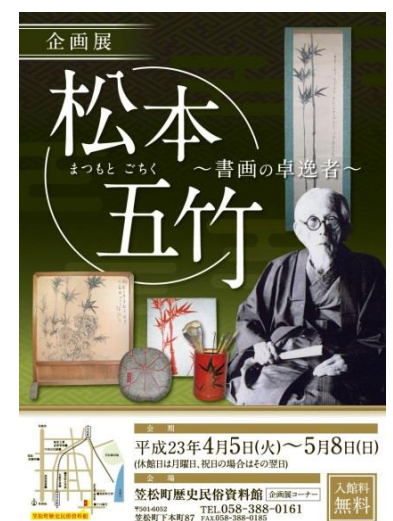
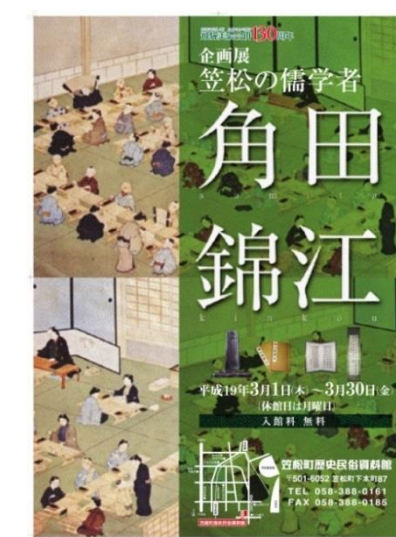
発掘品・絵・写真などを切り口に笠松の歩んできた道を振り返る。笠松の発展と織物は切り離せない。岐阜県立第一工業学校以来の歴史をもつ「笠工」も笠松の歴史を物語るに欠かせない存在だ。

【館蔵品を紹介】



資料館には、多数の民俗資料が収蔵されている。什器や農商工業にまつわる資料は膨大だ。笠松の商工業は、江戸時代から木曾川とともに発展してきた。

【笠松ゆかりの文化人を紹介】



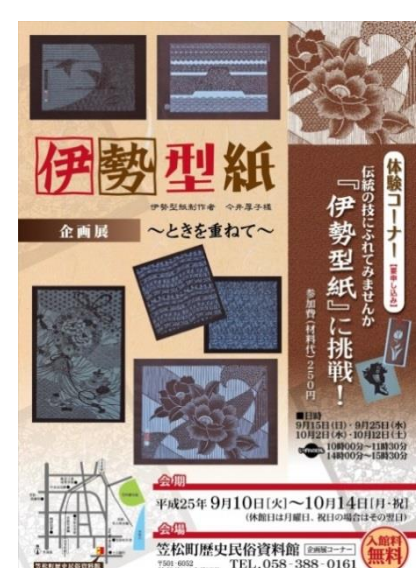
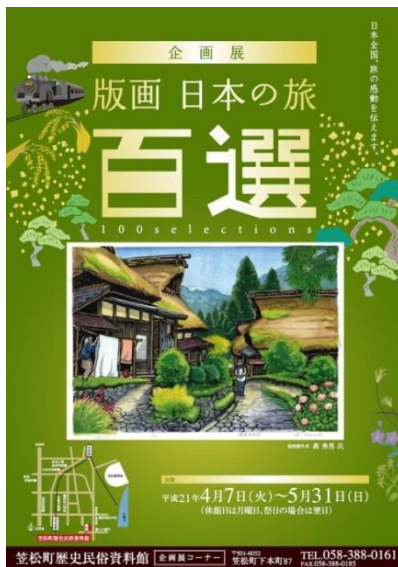
多くの儒学者・漢詩人・俳人・画人などを輩出している笠松。江戸期から明治以降へと途切れることなくその伝統は受け継がれていく。

【昔のくらしを振り返る】



昭和 40 年代を境に、人々の暮らしは大きく変わった。なつかしい民具を通して、昔の暮らしがよみがえる。

【傑作品がならぶ展示】

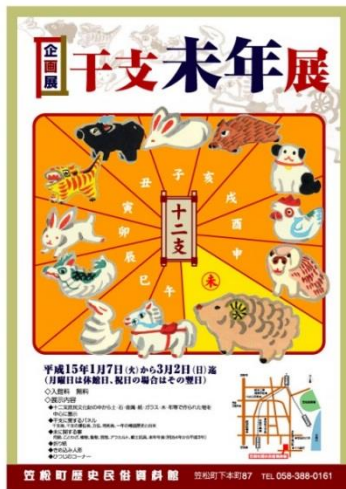


古くからの技法を学んで作品をつくりだす人。独自に技法を編み出して作品をつくる人。その作品のすばらしさに圧倒される。

干支展ポスター

平成 15 年（未年）～平成 26 年（午年）

米野在住の宮崎惇氏は、長年収集した全国の干支にまつわる膨大な資料を笠松町に寄贈され、歴史民俗資料館がその保存にあたってきました。その資料を中心に平成 10 年から毎年「新年企画 干支展」を開催し、好評を得てすでに二巡目に入っています。



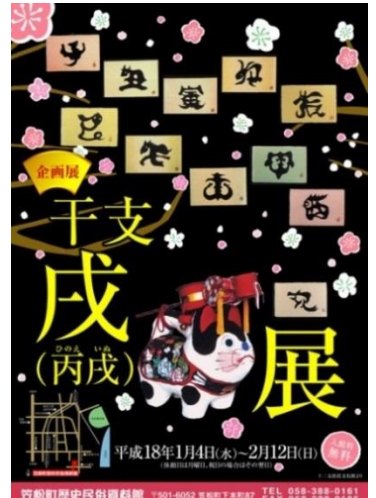
平成 15 年（未年）



平成 16 年（申年）



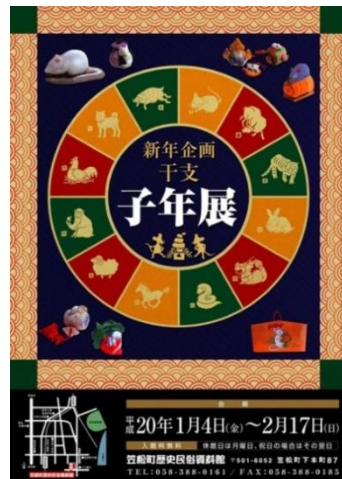
平成 17 年（酉年）



平成 18 年（戌年）



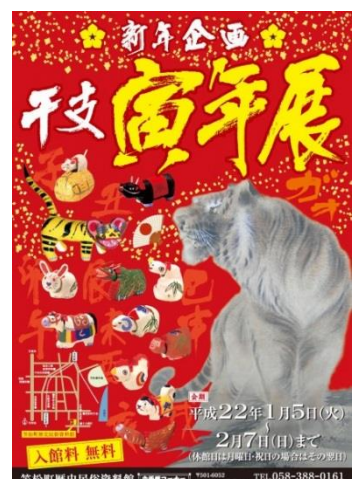
平成 19 年（亥年）



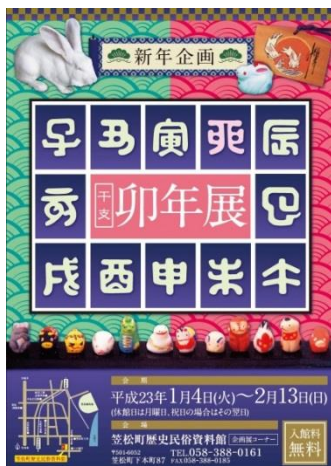
平成 20 年（子年）



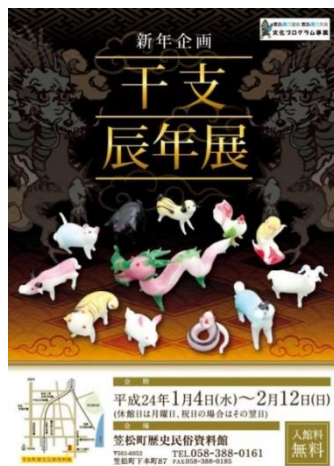
平成 21 年（丑年）



平成 22 年（寅年）



平成 23 年（卯年）



平成 24 年（辰年）



平成 25 年（巳年）



平成 26 年（午年）